

投資事業評価調書 (新規)

課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 西垣 嘉夫 (土居 康成)	内線	4 3 8 9 (4 3 9 9)
-----	-------	---------------------	-------------------------	----	------------------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 7 億円
		緊急地方道路整備事業 (一)大和北条線	加西市北条町古坂		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
加西市北条町古坂				平成 13 年度	平成 18 年度

事業目的	事業内容
交通安全対策 ・交通量の多いトンネル内道路 (延長 L=70m) の歩車分離を図るとともにオープンカット化により視距の増大を図り、交通安全対策を推進する。	歩道整備 (両側) L = 4 0 5 m W = 2 . 0 m

評価視点	
(1) 必要性 快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車交通量、自転車交通量が多い。 (自動車 14,100 台/日、歩行者 27 人/日、自転車 259 台/12h) ・学童・園児の交通量 (6 人/日) ・過去 5 年間の歩行者・自転車の交通事故件数 (1 件)。 ・死傷事故率 (186 人/億台 km)。 ・北条保育園 (約 600m) が立地。 ・泉小学校、北条小学校の通学路に指定されている。 ・市役所、市民センター、加西病院等のある福祉重点地区に近接している。 ・歩道の連続性確保。 ・前後の整備状況・・・両側整備済み。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの事業化に対して強い要望あり。
(2) 有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全が確保され、投資効果が期待できる。 ・オープンカット化により安全対策が向上する。
代替性	<ul style="list-style-type: none"> ・トンネル部については、代替案 (トンネル拡幅、人道トンネル) と比較検討の結果、オープンカット化を採用した。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な用地取得に向けて、加西市と用地取得体制に関する協議済み。
(3) 環境適合性	透水性歩道舗装の採用、オープンカット化する区間の法面については、道路環境を考慮のうえ、修景緑化に努める。
(4) 優先性	当該箇所は、自動車交通量が多く、過去 5 年間に歩行者・自転車利用者の交通事故が発生しており、泉小学校や北条小学校の通学路に指定されている。このため、早急に歩道の整備を行う必要がある。

評価の結果	着手妥当	左の理由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
-------	------	------	----------------------